

2 辻堂駅周辺の現況・課題

(1) 辻堂駅周辺の現況

①立地条件

ア 位置及び交通条件

茅ヶ崎市は、神奈川県のおぼ中央部に位置し、辻堂駅は、東側に隣接する藤沢市域に立地している。

辻堂駅は、J R東海道本線で、東京駅から約 55km(約 50 分)、横浜駅から約 26km(約 20 分)の距離にある。

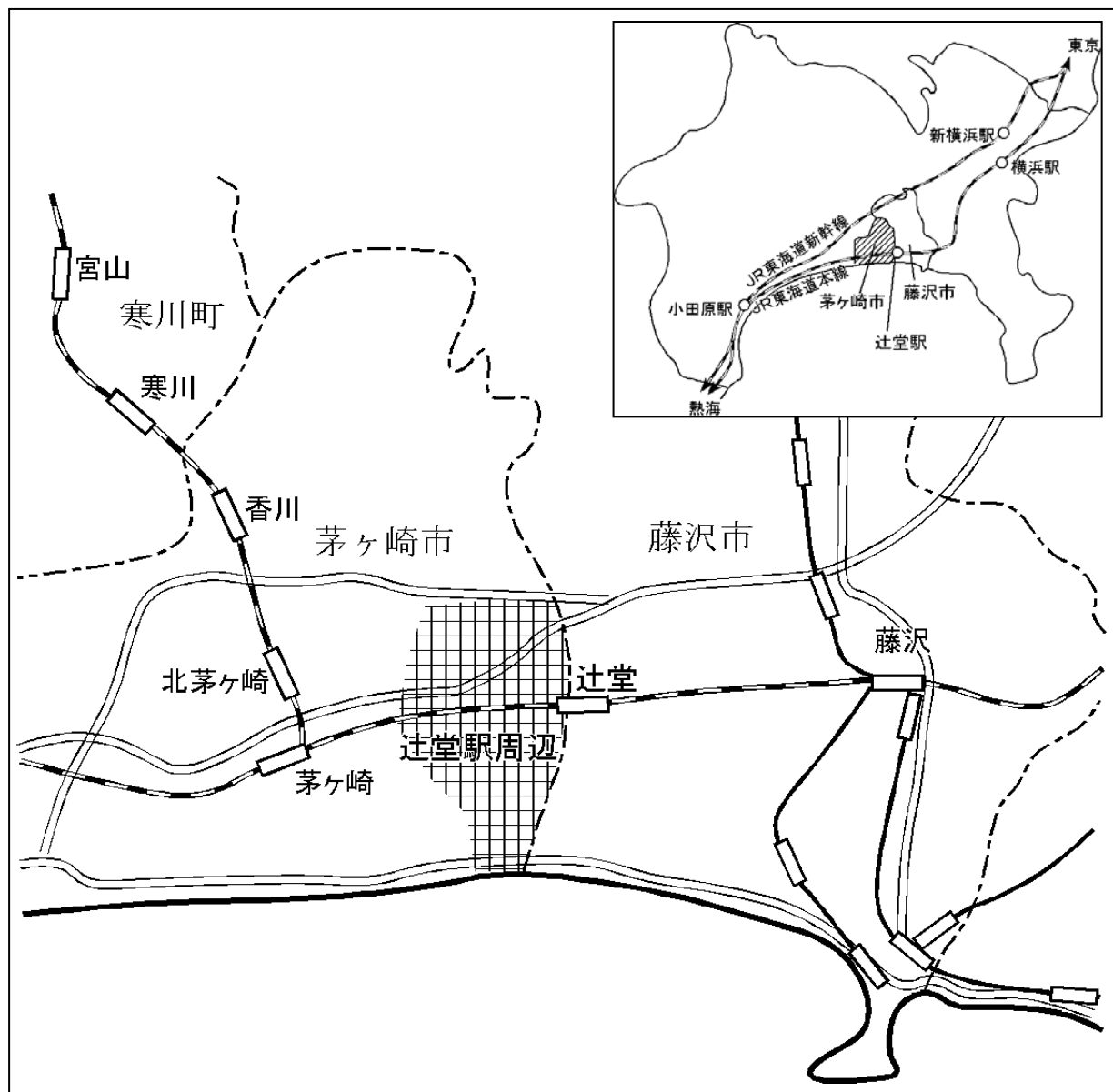


図 2.1 辻堂駅の位置

イ 都市計画の状況

辻堂駅周辺は、ほぼ全域が市街化区域となっており、用途地域は、駅周辺に近隣商業、工業専用が指定されているほか、駅から離れると主に住居系の用途地域になっている。

- ・辻堂駅西口北側には、都市計画道路辻堂赤羽根線及び国道1号に沿って、工業専用地域、準工業地域が指定されている。
- ・辻堂駅西口南側には、都市計画道路小和田辻堂線に沿って近隣商業地域が指定されている。
- ・都市計画道路茅ヶ崎辻堂線より北側は、主に第一種住居地域や第一種中高層住居専用地域、南側は主に第一種低層住居専用地域に指定されている。
- ・都市計画道路は、辻堂赤羽根線、小和田辻堂線が整備されており、小和田中赤線、新国道線、茅ヶ崎辻堂線の一部は未整備となっている。

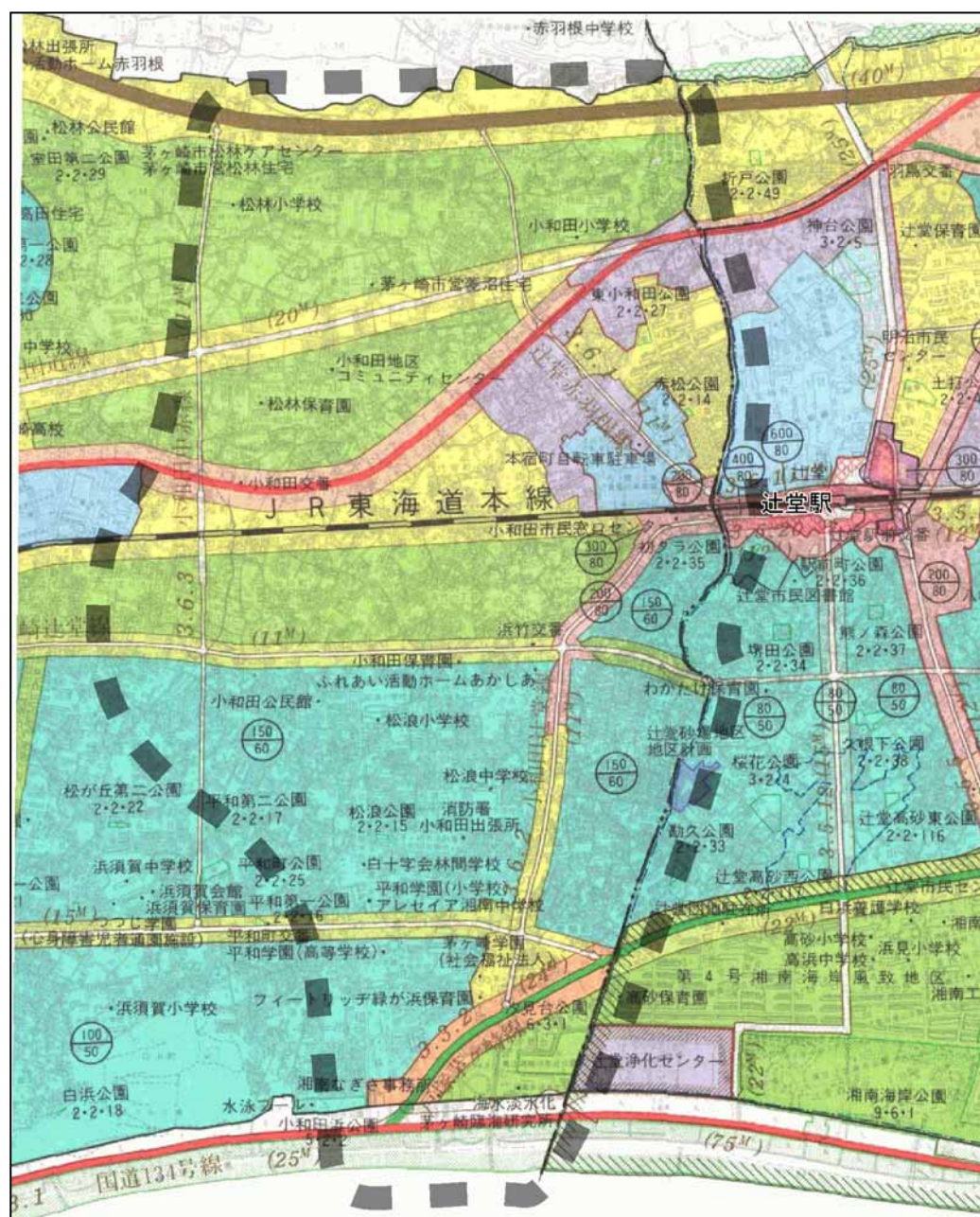


図 2.2 都市計画の状況

②社会条件

ア 人口・人口密度

人口は、平成6年からの10年間で約13%増加しており、茅ヶ崎全体の増加率を上回っている。特に、緑が浜及び汐見台等において増加率が高くなっている。これは大規模マンション等の住宅開発が行われたためと考えられる。

人口密度は、100人/haを超える地区が多く、最も高い赤松町では、約160人/haとなっている。

イ 世帯数・世帯当たり人員

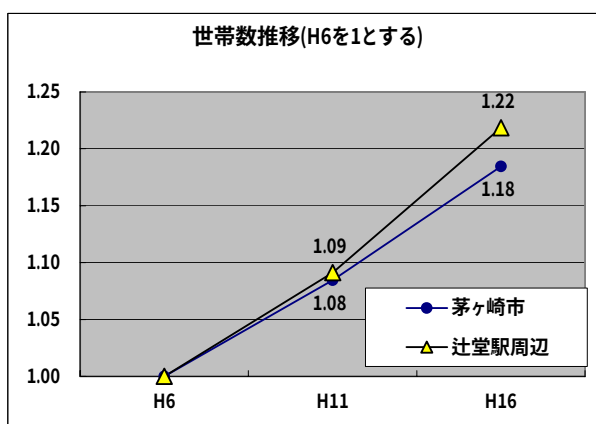
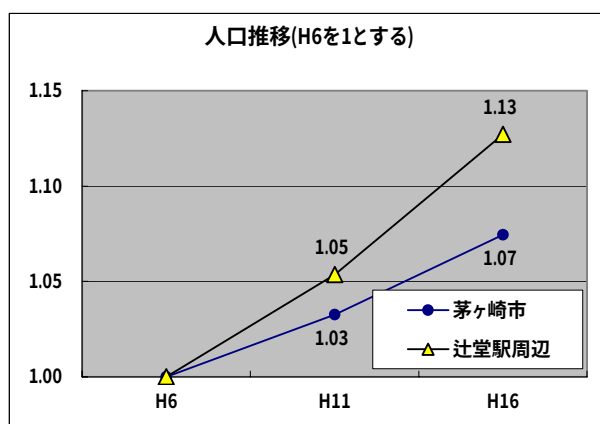
世帯数は、平成6年からの10年間で約22%増加しており、茅ヶ崎全体の増加率を上回っている。人口と同様に、緑が浜及び汐見台等において増加率が高くなっている。

世帯当たり人員は、2.5人/世帯を下回る地区も見られ、最も低い汐見台では、2.11人/世帯となっている。

表 2.1 人口・世帯数の推移

	H6人口 (人)	H11人口 (人)	H16人口 (人)	H6-16 人口増減	面積 (km ²)	H16人口密 度(人/ha)	H6世帯 数	H11世帯 数	H16世帯 数	H6-16世 帯数増減	H16世帯あたり 人員(人/世帯)
茅ヶ崎市	211,878	218,796	227,659	7.4%	35.760	63.7	73,677	79,901	87,273	18.5%	2.61
辻堂駅周辺	39,657	41,782	44,698	12.7%	4.310	103.7	14,146	15,436	17,237	21.9%	2.59
小和田一丁目	2,052	2,053	2,114	3.0%	0.190	111.3	708	738	802	13.3%	2.64
小和田二丁目	993	1,123	1,197	20.5%	0.130	92.1	328	375	444	35.4%	2.70
小和田三丁目	1,846	2,233	2,210	19.7%	0.173	127.7	651	808	818	25.7%	2.70
菱沼一丁目	1,863	1,900	1,889	1.4%	0.200	94.5	588	628	671	14.1%	2.82
菱沼二丁目	1,089	1,429	1,442	32.4%	0.164	87.9	352	478	503	42.9%	2.87
菱沼三丁目	1,362	1,428	1,403	3.0%	0.120	116.9	470	506	513	9.1%	2.73
松林一丁目	1,148	1,337	1,398	21.8%	0.122	114.6	388	498	515	32.7%	2.71
松林二丁目	1,170	1,395	1,517	29.7%	0.141	107.6	372	488	539	44.9%	2.81
松林三丁目	849	903	982	15.7%	0.140	70.1	246	294	329	33.7%	2.98
小桜町	506	522	619	22.3%	0.154	40.2	174	174	228	31.0%	2.71
代官町	941	1,007	960	2.0%	0.114	84.2	363	425	418	15.2%	2.30
本宿町	1,409	1,338	1,558	10.6%	0.193	80.7	565	515	674	19.3%	2.31
赤松町	3,380	2,955	3,917	15.9%	0.243	161.2	1,293	1,192	1,492	15.4%	2.63
浜竹一丁目	1,716	1,792	1,826	6.4%	0.166	110.0	652	683	759	16.4%	2.41
浜竹二丁目	1,269	1,323	1,343	5.8%	0.129	104.1	492	510	557	13.2%	2.41
浜竹三丁目	1,471	1,497	1,527	3.8%	0.139	109.9	612	642	687	12.3%	2.22
浜竹四丁目	2,309	2,374	2,583	11.9%	0.203	127.2	939	972	1,105	17.7%	2.34
出口町	1,836	1,830	1,811	-1.4%	0.171	105.9	618	655	708	14.6%	2.56
ひばりが丘	1,862	1,936	1,875	0.7%	0.143	131.1	637	675	713	11.9%	2.63
美住町	2,883	2,880	2,928	1.6%	0.234	125.1	983	1,057	1,118	13.7%	2.62
松浪一丁目	1,412	1,401	1,517	7.4%	0.160	94.8	504	529	558	10.7%	2.72
松浪二丁目	2,177	2,126	2,138	-1.8%	0.186	114.9	748	784	822	9.9%	2.60
常盤町	1,212	1,255	1,345	11.0%	0.138	97.5	423	458	516	22.0%	2.61
富士見町	1,574	1,903	2,025	28.7%	0.192	105.5	535	684	749	40.0%	2.70
緑が浜	990	1,460	2,053	107.4%	0.142	144.6	346	515	752	117.3%	2.73
汐見台	338	382	521	54.1%	0.223	23.4	159	153	247	55.3%	2.11

資料：茅ヶ崎市の人口と世帯



③自然条件

南は湘南海岸、北は赤羽根丘陵にはさまれており、住宅地内に緑が多く、J R東海道本線の北側では農地も多く見られる。



資料:地図集 大地が語る歴史 茅ヶ崎市史 現代7

図 2.3 航空写真(平成2年)

④土地利用

ア 土地利用現況

● JR東海道本線より北側地区

国道 1 号と J R 東海道本線に挟まれた地区を中心に工場や住宅が密集して立地している。代官町などにおいては、狭隘な道路が複雑に入り組むなど、都市基盤が十分に整っていない箇所もみられる。

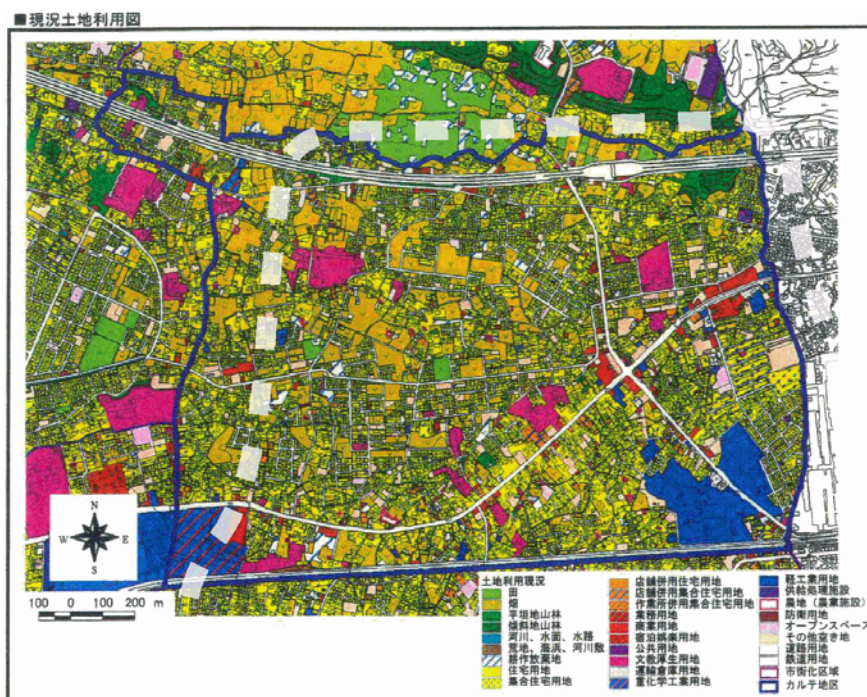


図 2.4 土地利用現況(JR 東海道本線より北側地区)

● JR東海道本線より南側地区

住宅が中心となっており、学校等の文教厚生用地も多く見られる。幹線となる都市計画道路は整備されているものの、住宅地内の生活道路は十分に整備されていない。

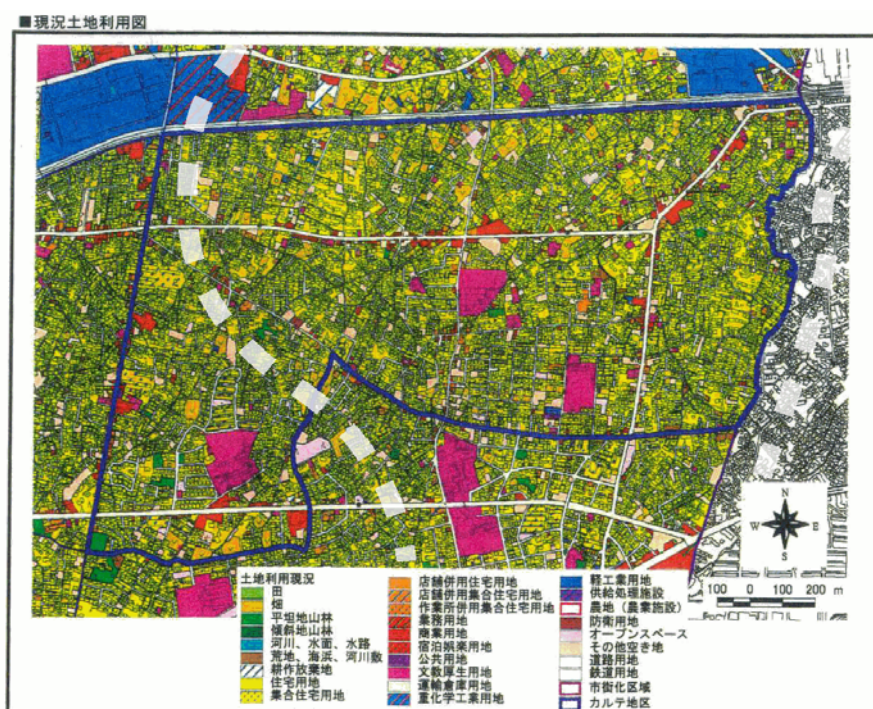


図 2.5 土地利用現況(JR 東海道本線より南側地区)

●湘南海岸付近

文教厚生用地とオープンスペースが、広い面積を占めている。また、幹線道路沿道に商業施設も立地している。

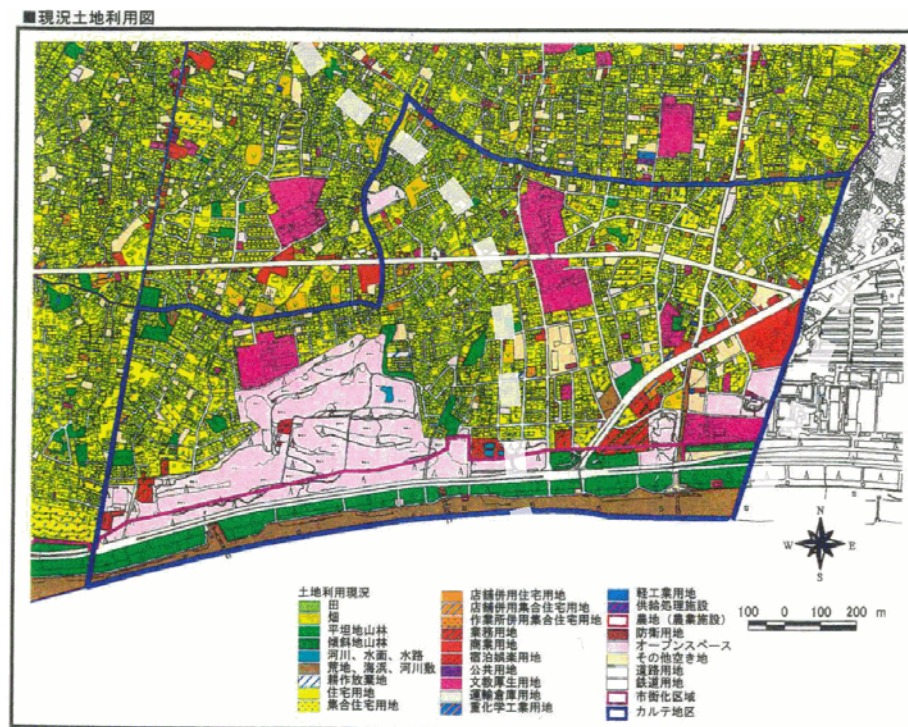


図 2.6 土地利用現況(湘南海岸付近)

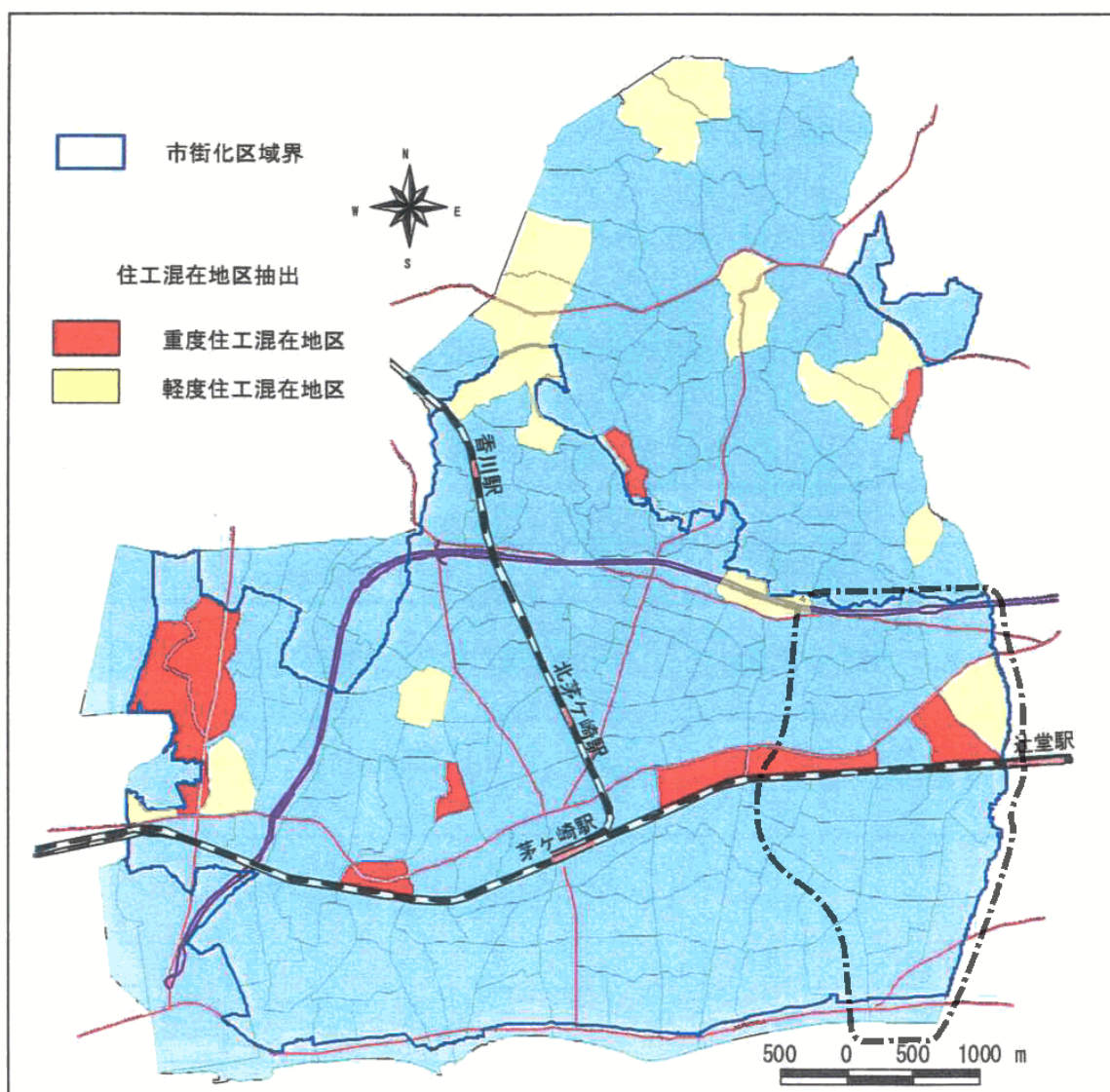
資料：平成 14 年度茅ヶ崎市都市計画基礎調査解析業務報告書

イ 住工混在状況

都市計画基礎調査において住工混在地区が抽出されており、本宿町が「重度住工混在地区」、赤松町が「軽度住工混在地区」となっている。

表 2.2 住工混在地区の抽出条件

	住居系建物延床面積率	工業系建物延床面積率
重度住工混在地区	20%超 65%以下	35%超 80%以下
軽度住工混在地区	65%超 90%以下	10%超 35%以下



資料：平成 14 年度茅ヶ崎市都市計画基礎調査解析業務報告書

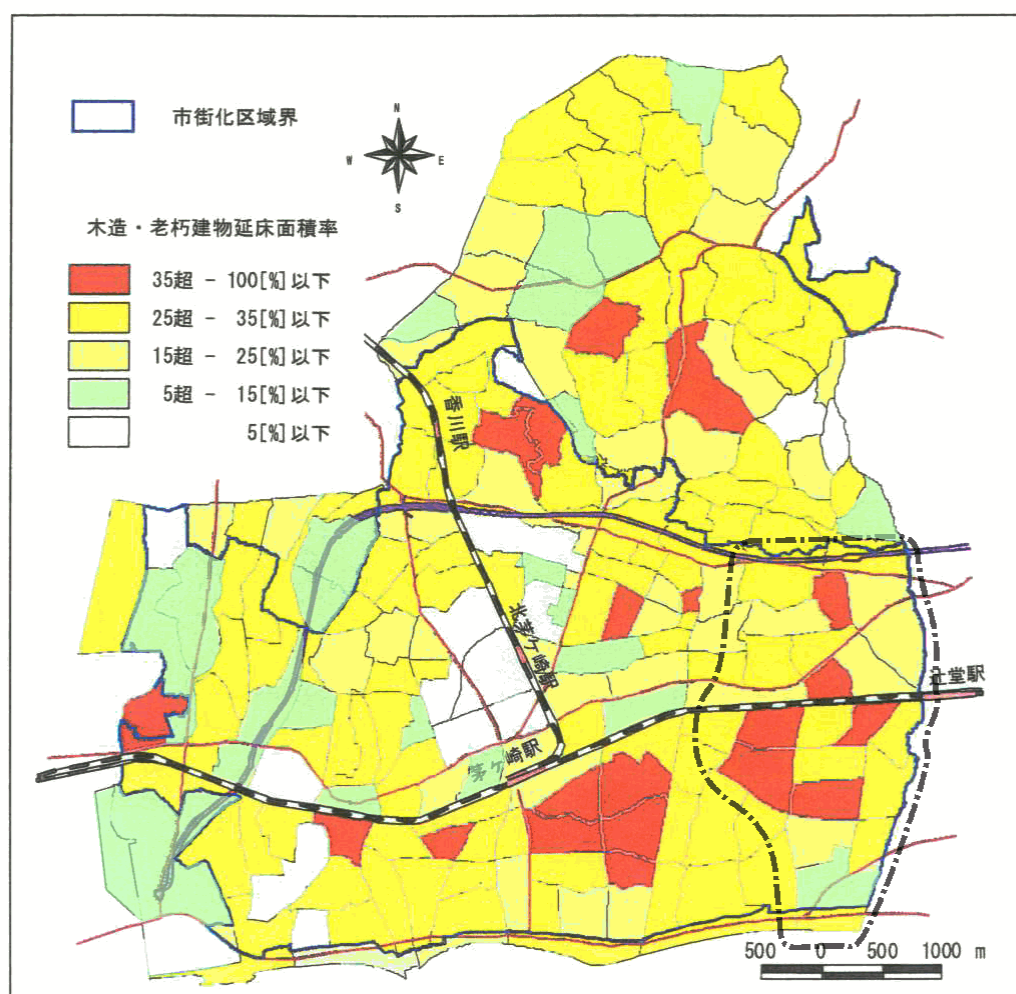
図 2.7 住工混在地区の抽出

ウ 木造・老朽建物延床面積率

代官町及び浜竹二丁目において、木造・老朽建物延床面積率が 35%以上と非常に高くなっており、辻堂駅周辺では、ほぼ全域で 15%を超えている。

木造・老朽建物延床面積率（％）＝木造・老朽建物延床面積÷全建物延床面積×100

- ・ 全建物延床面積に対する建築年数 20 年以上の木造建物延床面積の割合を示す指標
- ・ 木造・老朽建物率が高いほど木造建物の老朽化が進んでいるといえる



木造・老朽建物延床面積率

木造・老朽建物 延床面積率	都市計画区域	市街化区域	市街化調整区域
	22.8（％）	23.1（％）	19.3（％）

資料：平成 14 年度茅ヶ崎市都市計画基礎調査解析業務報告書

図 2.8 木造・老朽建物延床面積率

⑤公共公益施設

ア 道路・交通施設

a 道路整備状況

東西方向に新湘南バイパス、国道1号及び国道134号等が、辻堂駅から放射状に辻堂赤羽根線及び小和田辻堂線が整備されている。都市計画道路新国道線及び小和田中赤線が未整備となっている。

また、J R東海道本線を横断する道路は、藤沢市側の辻堂停車場辻堂線のみが整備されている。

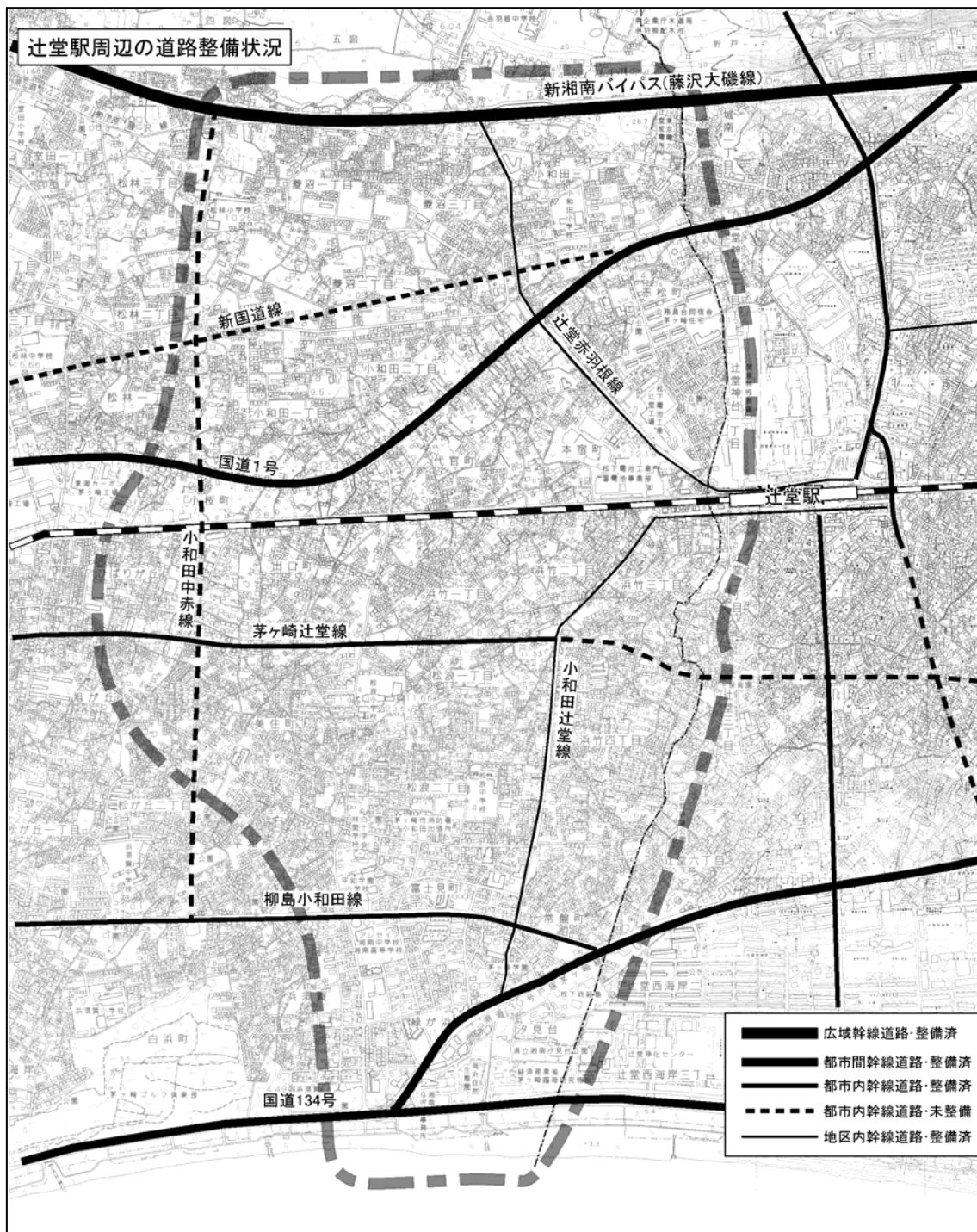
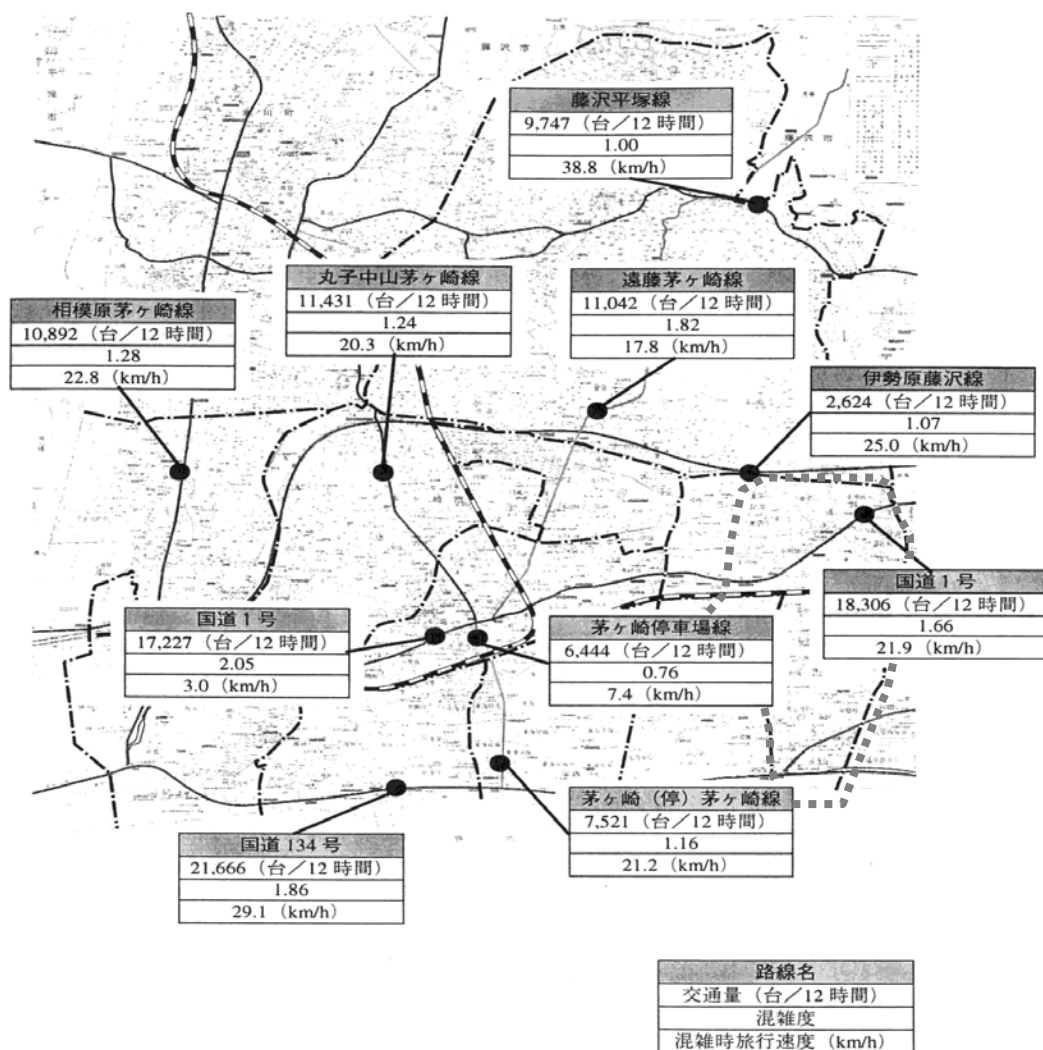


図 2.9 辻堂駅周辺の道路整備状況

b 交通量

J R東海道本線の北側を通る国道1号では、平日休日とも約18,000台/12時間以上の交通量となっており、市内では、海岸線を走る国道134号とともに交通量が多い道路となっている。



資料:平成9年道路交通センサス

図 2.10 一般県道以上の交通状況(平日)

c 鉄道利用状況

辻堂駅の乗車人員は、近年およそ 45,000 人/日となっており、茅ヶ崎駅よりやや少なく、藤沢駅のおよそ半数となっている。

表 2.3 乗車人員の推移 (単位:人/日)

駅\年度	1999	2000	2001	2002	2003
辻堂	45,414	44,957	44,984	45,042	45,153
茅ヶ崎	54,009	54,052	53,813	53,378	53,360
藤沢	95,373	92,640	92,231	92,187	93,411

資料:JR東日本HPより

辻堂駅の改札口は、藤沢市側の本屋口と、茅ヶ崎市民が多く利用する西口が設置されている。辻堂駅西口付近は、通路や改札口が狭く、時間帯によっては、乗降客に充分対応できていない状況にある。

本屋口では、北側と南側に駅前広場が整備されており、バスやタクシー、自家用車が利用している。西口には、駅前広場はなく、バスやタクシー等が停車するスペースが確保されていない。

d 鉄道利用者の駅までのアクセス手段

辻堂駅利用者のうち、茅ヶ崎市からの利用が約 34%を占めており、特に小和田地区、松浪地区からの利用が多くなっている。

辻堂駅利用者の末端交通手段は、徒歩、自転車、路線バスの順に多くなっている。地区別に見ると、小和田地区はほとんどが徒歩もしくは自転車となっているが、松浪地区は、路線バスの割合も高くなっている。

表 2.4 地区別末端交通手段(辻堂駅)

鉄道駅	地区	路線バス	自動車	タクシー・ ハイヤー	原付・自 二車	自転車	徒歩	その他	不明	合計
辻堂	小和田地区	144 1%	332 3%	0 0%	154 1%	3,962 34%	6,903 60%	0 0%	0 0%	11,495 100%
	松浪地区	3,031 26%	912 8%	311 3%	68 1%	2,704 24%	4,432 39%	0 0%	0 0%	11,458 100%
	浜須賀地区	1,335 27%	449 9%	159 3%	188 4%	1,762 35%	1,076 22%	0 0%	0 0%	4,969 100%
	東海岸地区	106 62%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	64 38%	0 0%	0 0%	170 100%
	中海岸・南湖地区	0 0%	33 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	33 100%
	茅ヶ崎地区	43 20%	33 15%	0 0%	0 0%	86 39%	58 26%	0 0%	0 0%	220 100%
	室田・鶴が台地区	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	88 100%	0 0%	0 0%	0 0%	88 100%
	北部地区	1,907 43%	823 18%	38 1%	524 12%	894 20%	292 7%	0 0%	0 0%	4,478 100%
	茅ヶ崎市内	6,566 20%	2,582 8%	508 2%	934 3%	9,496 29%	12,825 39%	0 0%	0 0%	32,911 100%
	茅ヶ崎市外	19,069 30%	3,326 5%	734 1%	813 1%	10,178 16%	29,674 47%	35 0%	0 0%	63,769 100%
	総計	25,635 27%	5,908 6%	1,242 1%	1,747 2%	19,614 20%	42,499 44%	35 0%	0 0%	96,680 100%

資料:茅ヶ崎市総合交通プラン策定調査報告書(H13.3)

(注)表内の数値はトリップ数であり、上表の乗車人員と数値が異なる

e 自転車駐車場

辻堂駅周辺では、自転車需要が北口で 2,515 台、南口で 2,233 台であるにもかかわらず、自転車駐車場容量は、北口で 2,010 台、南口で 644 台となっており、大幅に不足している。

表 2.5 駅末端自転車需要・需給バランス

単位: 台

	北口				南口			
	自転車 需要	自転車駐車場容量		需要差 (需要 - 容量)	自転車 需要	自転車駐車場容量		需要差 (需要 - 容量)
		公営	民営			公営	民営	
JR 茅ヶ崎駅	6,599	5,425	1,846	-672	5,464	3,491	392	1,581
JR 辻堂駅	2,515	1,560	450	505	2,233	—	644	1,589

注) JR 辻堂駅に関しては、茅ヶ崎市関連の需要のみを対象

< 自転車駐車場容量算出対象 >

JR 茅ヶ崎駅北口: 公営—新栄町第一(1,992)、第二(2,377)、第三(556)、ツインウェイ北(500)
民営—元町(1,846)

JR 茅ヶ崎駅南口: 公営—駅南口臨時(221)、幸町(2,800)、ツインウェイ南(480)
民営—中海岸(101)、共恵1(233)、共恵2(58)

JR 辻堂駅北口: 公営—本宿町(1,560)、民営—本宿町(450)

JR 辻堂駅南口: 民営—浜竹(201)、藤沢市辻堂(443)

資料: 茅ヶ崎市総合交通プラン策定調査報告書(H13.3)

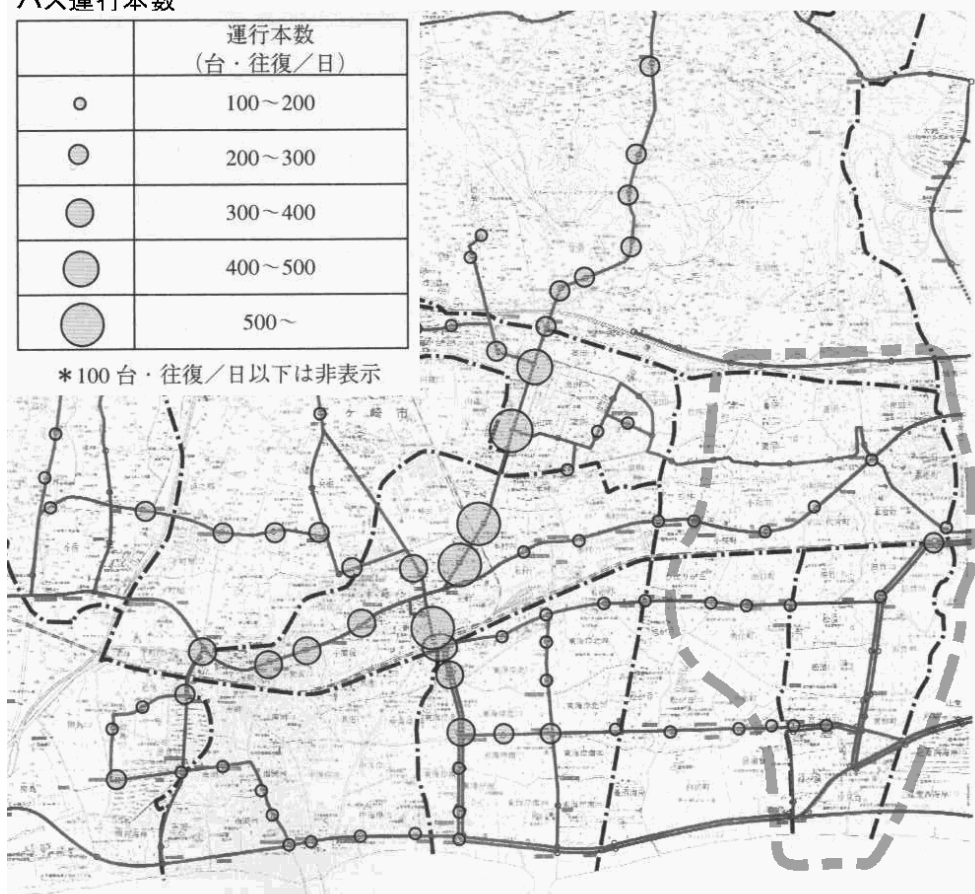
f バス路線

辻堂駅周辺においては、辻堂駅を中心に運行されており、東西方向の路線が主体となっている。また、運行本数がそれほど多くない。

バス運行本数

	運行本数 (台・往復/日)
○	100～200
●	200～300
●	300～400
●	400～500
●	500～

* 100 台・往復/日以下は非表示



資料: 茅ヶ崎市総合交通プラン策定調査報告書(H13.3)

図 2.11 バス路線の状況

イ 公園・緑地

都市公園として街区公園等が設置されているが、公園の多くは、J R東海道本線より南側の、より海岸に近い地域に多く整備され、配置が偏っている。J R東海道本線より北側の市境付近では、都市計画決定された赤松公園及び東小和田公園のほか、大規模マンションの開発による提供公園が整備されている。

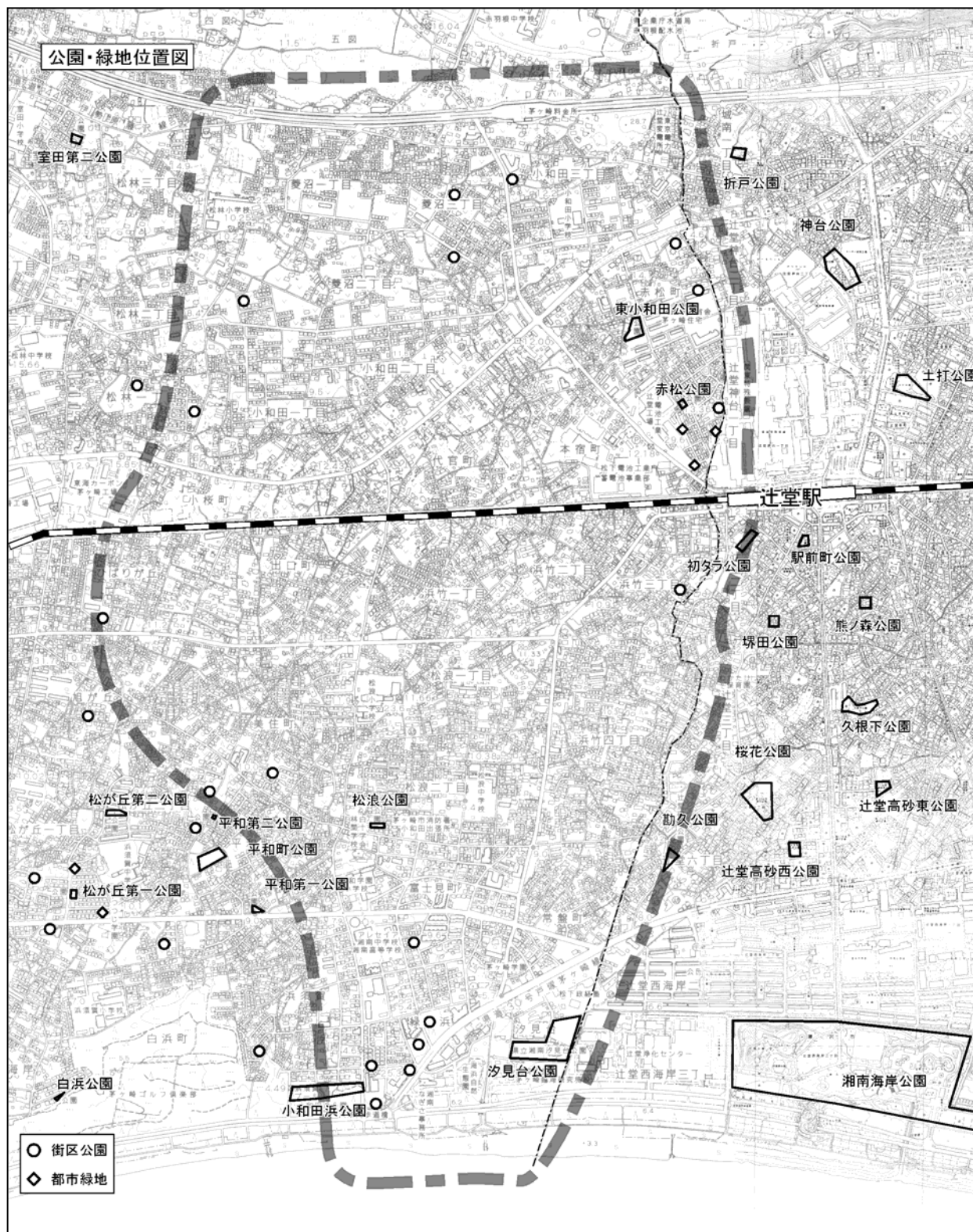


図 2.12 公園・緑地位置図

ウ その他の公共公益施設及び供給処理施設

学校や公民館等が設置されているが、アクセスが不便であるなどの問題を抱えている。

上下水道はおおむね整備が完了しているが、雨水幹線が未整備の箇所があり、降雨時の水害が発生している。

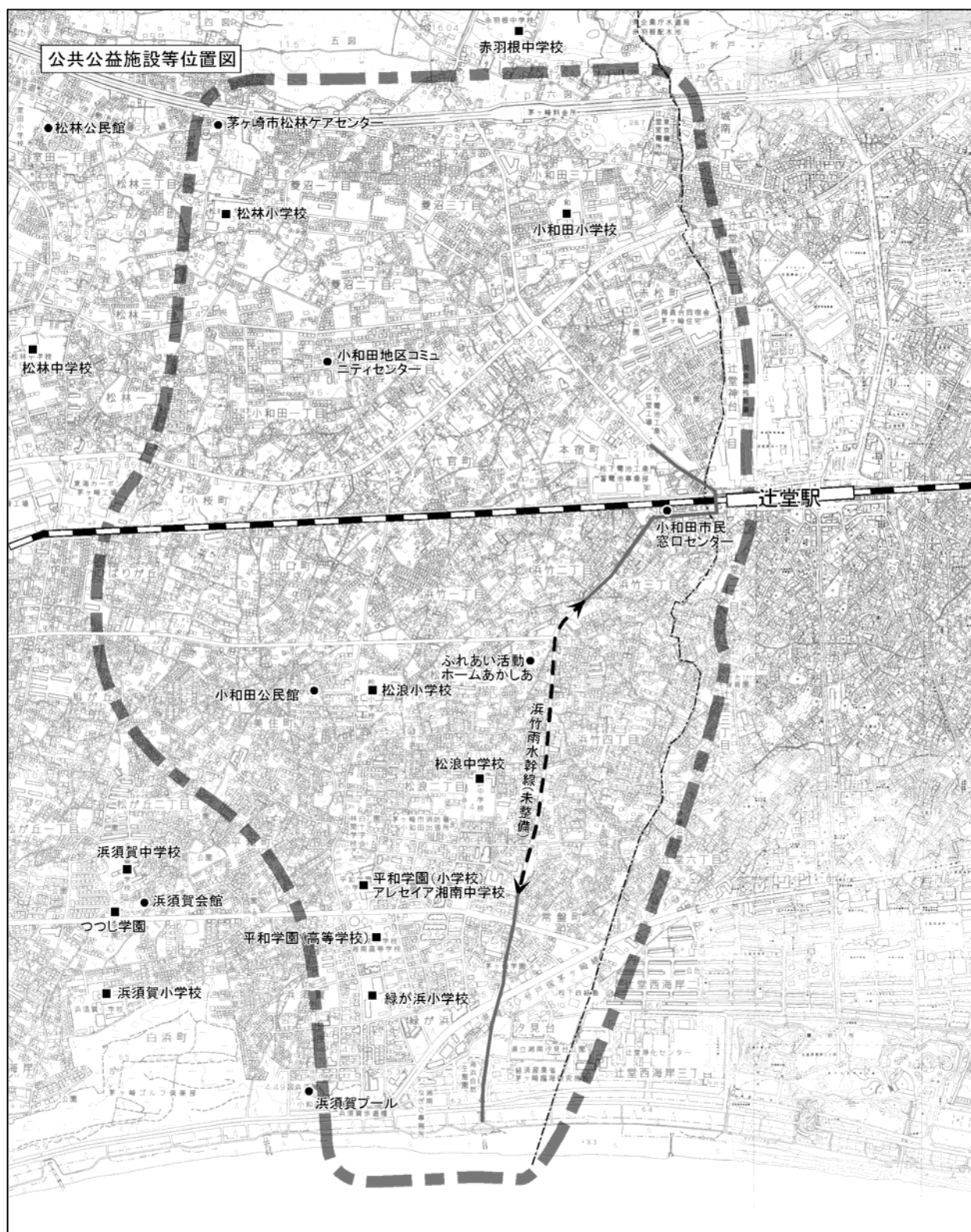


図 2.13 公共公益施設等位置図

⑥商業状況

商店街は、辻堂駅から南西に伸びる小和田辻堂線に沿って形成されている。

大型小売店は、茅ヶ崎駅及び藤沢駅周辺に集積しており、辻堂駅周辺にはそれほど集積していない。

表 2.6 辻堂駅、藤沢駅及び茅ヶ崎駅周辺の大型小売店(店舗面積 3,000 m²以上)

	店名	店舗面積	業態
藤沢市			
1	増田B・遊行通り共同B(丸井藤沢店)	12,994	百貨店
2	オーケージャンボ・フジサワB(家具の大正堂藤沢店)	9,035	専門店
3	CDビル・ダイヤモンド・フジサワ・名店ビル	11,662	寄合百貨店
4	ニューフジサワビル(藤沢OPA)	10,739	寄合百貨店
5	田原屋藤沢店	3,446	スーパー
6	江ノ電ビル(藤沢小田急)	12,588	百貨店
7	イトーヨーカドー藤沢店	13,589	スーパー
8	相模プラザビル(トポス藤沢店)	11,598	スーパー
9	藤沢駅北口再開発ビル(藤沢さいか屋)	20,835	百貨店
10	湘南ライフタウンSC(ジャスコ藤沢店)	9,372	スーパー
11	ルームズ大正堂	9,442	スーパー
12	善行SC(Fuji善行店)	3,776	スーパー
13	湘南とうきゅうビル	17,250	スーパー
20	藤沢ショッピングセンター(湘南モール)	26,403	SC
21	オリンピック藤沢店	6,932	スーパー
22	藤沢東急プラザ19街区ビル(東急ハンズ藤沢店)	4,666	専門店
23	藤沢2丁目ショッピングセンター	4,112	食品スーパー
茅ヶ崎市			
14	ダイクマ茅ヶ崎店	9,867	スーパー
15	マルオカビル(ヌマヤ茅ヶ崎店)	4,888	スーパー
16	イトーヨーカドー茅ヶ崎店	12,011	スーパー
17	茅ヶ崎ターミナルビル(茅ヶ崎ルミネ)	8,831	寄合百貨店
18	ニチバクビル(茅ヶ崎サティ)	26,183	SC
19	マルエツ茅ヶ崎店	5,209	スーパー
24	ジャスコ茅ヶ崎SC	26,810	SC
25	島忠家具ホームセンター茅ヶ崎店	9,447	専門店

※SC=ショッピングセンター

資料:大型小売店総覧2003

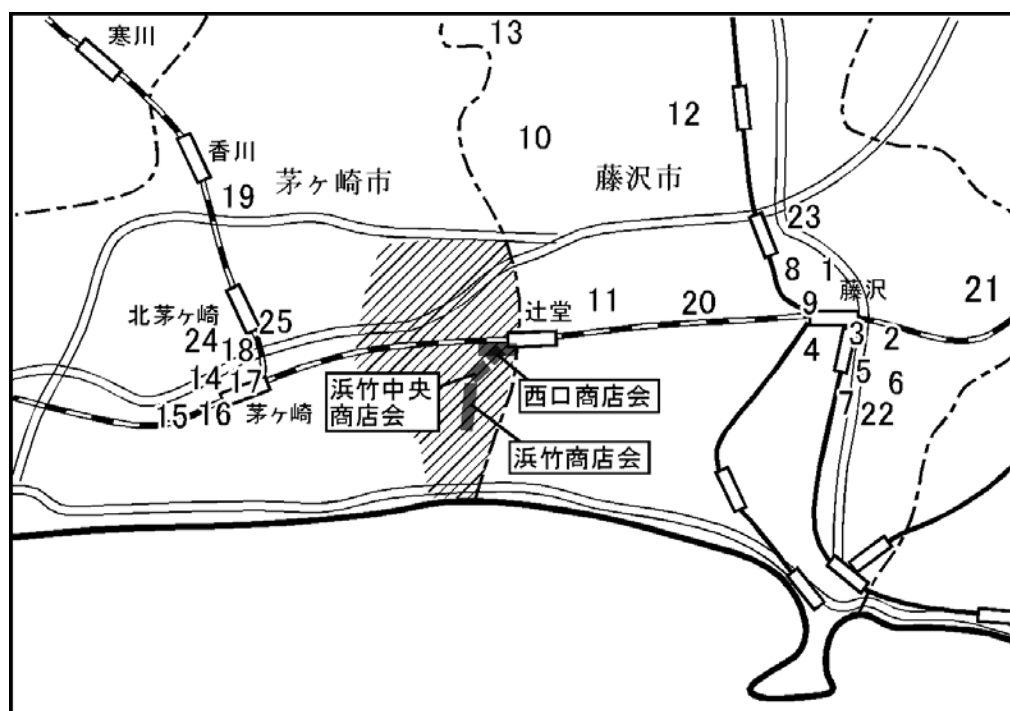


図 2.14 商店街及び大型小売店の位置